

令和4年度が修了しました

春の訪れが例年よりも早く、うららかな日差しが届く日が多くなりました。本校敷地内の桜も咲き始め、間もなく満開の時期を迎えそうです。

学校では本日、令和4年度の修了式を迎えました。1年間を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症拡大状況に左右されながらも、できることを生徒・保護者・地域の皆様と一緒に着実に積み重ねた1年間でした。これも皆様の学校教育活動へのご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。誠にありがとうございました。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

生徒の皆さんへ。皆さんは春休みを挟んでそれぞれ新2年生、新3年生へと進級します。新2年生は「先輩」、新3年生は「最高学年」と呼ばれることが多くなります。それを踏まえ、春休み中に進級への準備と心構えをしっかりとしておいてほしいと思います。そのためには「なりたい自分」の姿を可能な限り具体的にイメージし、その実現に向けたステップを自分で考えることが大切です。短い春休みですが、じっくりと自分を見つめ、自分と対話する時間を取ってください。4月からの皆さんのさらなる飛躍に期待しています。

楽しく三年 手を取りて ～41名の門出を祝福しました～



去る3月15日、令和4年度第76回卒業証書授与式を挙行し41名の卒業生が胸を張って安良丘の学び舎を巣立っていきました。今年度は3年ぶりに卒業生・保護者・在校生がそろっての式が挙行でき、また、在校生及び卒業生の合唱を行うこともできました。

在校生の歌「変わらないもの」では、3年生に出会い一緒に過ごした1・2年間の感謝の思いと、先輩方の未来へのエールを送りました。卒業生の歌「正解」では、仲間と過ごした3年間を振り返り、これからの「人生」という正

解のない問いに立ち向かっていく決意を、自らの心の中に刻み込むように歌いました。その堂々とした姿は、1・2年生の心に印象的に刻まれたことでしょう。41名の卒業生の皆さん、改めまして「卒業おめでとうございます」。教職員一同、これからの人生に幸あれとお祈りしています。

【卒業生答辞】 卒業生代表 谷原 快

厳しい寒さも和らぎ、うららかな春の香りを感じる季節となりました。今日、僕達卒業生41名は、この校舎を旅立ちます。本日は僕達の為に、このような心こもった卒業式を挙げていただき、有難うございます。

新しい学校生活への不安と、入学できる喜びを胸に、迎えた3年前の入学式。あの日、お互いマスク姿ではありましたが、新たな仲間と出会い、共に過ごす中学校生活がとても楽しみになりました。

新たなスタートに胸を膨らませていた1年生。「初めてのこと」「新しいこと」が連続の学校生活に戸惑いながらも、日々、憧れの先輩方の姿から刺激を受け、少しずつ中学生としての自覚が芽生えてきました。

学年が一つ上がり、上級生として相應しい姿を目指した2年生。先輩方の背中を追うだけの立場から、先輩方から学んだことを後輩たちに伝える立場へと変わりました。先輩方の頼もしい背中に少しでも近づこうと、主体的に物事に取り組み、大きく成長することができました。

そして迎えた最高学年、3年生。全てが「中学校生活最後」となる一年。

仲間と、夢のような時間を共にした修学旅行。普段の学校生活では見ることでできない友達の新たな一面を知り、さらに絆を深めることができました。初めて目にする建物や景色に心を躍らせるとともに、ふるさと「加悦」の良さをより感じることできた3日間となりました。

3年間、仲間と切磋琢磨し、ひたむきに励んだ部活動。辛い練習の時も、思うような結果が出ず苦しい時も、いつも傍には励まし合える仲間が存在がありました。最後の大会では、3年間苦楽を共にしてきた仲間と心をついに臨みました。そして、忘れられない「笑顔」と「涙」があふれた最高の夏になりました。



優勝という大きな目標に向かって、学年を超えて繋がった体育祭。活動していく中で、集団の先頭に立ち、引っ張っていくことの難しさを痛感しました。しかし、リーダーを中心に話し合い、試行錯誤を重ねながら、より良いブロックを創り上げるためにベストを尽くしました。



クラスで一致団結し、理想とする歌声を届けるため努力した合唱コンクール。限られた時間の中で、練習を積み重ね、より高いレベルの合唱を目指しました。学年合唱の「友～旅立ちの時～」では、3年間学校生活を共にした仲間への思いを、これまでの集大成として歌声で表現しました。僕たちの合唱にこめた思いを、聴きにきてくださった方々に届けることができましたと思います。

これらの学校祭の取組を通して、努力することの大切さ、仲間と協力することの大切さを実感できたと同時に、仲間の存在の大きさに気づくことができました。

優しく、時には厳しく、僕たちを教え導いてくださった先生方。嬉しい時には一緒に喜び、悩んでいる時は、励ましの言葉をかけてくださいました。先生方がサポートしてくださったお陰で、僕たちは今こうしてそれぞれの道へ新たな一歩を踏み出すことができます。今までいつも傍で見守ってくださってありがとうございました。

そして、一番近くで僕たちを支え続けてくれた家族。反抗期真っ只中の僕たちは、迷惑や心配をかけてしまったこともたくさんあったと思います。それでも、いつも僕たちに寄り添い愛情いっぱい育ててくれました。15年間、有難うございました。そして、これからもよろしくお願いします。

在校生の皆さん。中学校の3年間はあっという間に過ぎていきます。一日一日を大切に、全てにおいて全力で、そして何より楽しんで、密度の濃い中学校生活を送ってください。そして、この加悦中学校をよりすばらしい学校にしていってください。

9年間の義務教育を終え、僕たちはそれぞれの夢に向かってスタートを切ろうとしています。長いようで短かったこの3年間。入学当初から我慢の連続だった3年間。僕たちが思い描いていた青春は違ったものになったかもしれません。けれど、コロナ禍で過ごした3年間は自分たちにしかできなかった経験、自分たちにしか得られなかったものもきっとあるはず。毎日制服を着て、「行ってきます。」と玄関を出ること、学校で他愛のない話で笑い合うこと。かつての日常が取り戻されつつある今、忘れてはいけないのは、毎日こうして生活できていることがとても貴重でかけがえのないものであるということだと思います。前に進めない時や、不安な時、目の前の現実から逃げ出しそうになった時、いつも僕たちの支えになったのは、大好きな仲間の笑顔でした。たとえマスク越しであっても、お互いの気持ちは通じ合い、支え合うことができました。何年先も色褪せることのない、鮮やかな思い出に溢れた中学校生活。僕たちだけの青春の形で、たくさんの思い出を作ってくれたこと。この学び舎で3年間を過ごせたことを誇りに思います。そして、大切な仲間とともに過ごした日々を糧に、僕たち41名は、夢に向かって進んでいきます。

最後に、ここにお集まりの皆様のご健康とご多幸、そして加悦中学校がこれからも素晴らしい歴史を刻んでいかれますことをお祈りして、答辞とさせていただきます。

4月当初の予定

- 4月3日(月) 離任式 9:00～
※8:45から開場(地域玄関から)
- 7日(金) 着任式・始業式
※8:00からクラス編成を張り出し
- 10日(月) 入学式
- 11日(火) 給食開始
- 13日(木) 新入生歓迎会
- 15日(土) 授業参観・PTA年度当初総会

春季休業中の電話対応について

春季休業中の平日 17:15以降及び土・日曜日における電話については自動応答装置での対応となります。ご不便をおかけしますが、主旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

なお、緊急の場合は下記緊急メールをご利用いただけます。
(管理職に転送されます。)

kaya-jhs-kinkyu@kyoto-be.ne.jp

